

# 環境学習施設の つくり方

— 地域に多面的価値を創出する施設 —

市民がつくる市民のための環境学習施設

## 豊田市環境学習施設 eco-T「エコット」



豊田市環境学習施設eco-T「エコット」<sup>※1</sup>の運営組織は、市民力<sup>※2</sup>が大きな役割を担っています。しかも、施設運営を担う市民組織が、行政との絶妙なコンビネーション（共働）により、ボランティア制度や各種環境事業を効果的に展開する等、その地域貢献にはめざましいものがあります。

このたび、興味深い運営組織設立

の経緯や諸活動について、エコットを運営する「NPO法人とよたエコ人（びと）プロジェクト」の長内隆久事務長にお話を聞きましたので、ご紹介いたします。

### ●運営組織の立ち上げ

2007年3月、渡刈クリーンセンターが竣工し、同年6月にセンター敷地内に新設された環境学習施設エコットの事業を開始しました。当初は、愛知県内で多くの実績がある「NPO法人中部リサイクル運動市民の会」（以下、中リ）という市民団体が、豊田市と単年度委託業務契約を結んで、施設を運営します。

この施設運営の中で、多くの市民が話し合いを重ね、「地元の市民が作る市民のための環境学習施設」というポリシーが形成され、豊田市民を中心に施設運営のNPO法人を作る方向に進みました。そして2009年3月に、市民主体の「NPO法人とよたエコ人プロジェクト」（以下、エコ人）を設立します。4月から、中リとエコ人がいっしょになってエコットを共同で運営し、OJT（On-the-Job Training／現任訓練）のようなスタイルで進み、2010年4月からエコ人が中りに代わって

単独で豊田市と単年度委託業務契約を結んで、現在にいたります。

### ●単年度委託業務契約について

単年度の委託契約については、メリットもデメリットも感じられたと言われます。メリットは、毎年の仕様書内容を更新時にタイムリーに変更出来る点で、施設運営上の要望を翌年の予算に反映してもらいやすい。一方デメリットは、運営スタッフも単年度契約なので、人材雇用が不安定になり、なかなか良い人材がそろえにくい点です。中長期的な事業ビジョンも描きにくい関係から、短期的な視点での動きに振り回されることがあるとも。

### ●市民ボランティアの活躍なくして運営なし

現在、エコライフの案内人として活躍する市民ボランティアは101人（インタープリター…74人、積み木キャラバン隊…27人（兼任を含む））います。

インタープリターは、毎年新規育成をし、1〜16期生まで在籍しています。彼らを支えるために、ステッ



市民ボランティアの育成して施設の担い手に

プアップ研修や世話人会（各期から1人選出されたインタープリターと事務局スタッフが集う会議）の開催、自主活動ができるワーキンググループ等、施設運営の大きな担い手として活躍できるような仕組みがさまざまあります。

例えば、ワーキンググループには、もった博士のががく倶楽部、かんたんエコ手芸教室、エコゲーム研究会、ガーデニングクラブ、SDGs市民理解等の九つのインタープリター同士の集まりがあります。毎月1回定例の会議を開き、活動内容や講座企



ステップアップ研修として救急救命訓練七



エコに関する知識を育む「もった博士のかかく倶楽部」



市民の自主的な取り組みの場を提供



積み木キャラバン隊を通じた木育事業



工場見学の案内も

画等を話し合って、講座をしたり花壇を整備したりといった諸活動をしていくという流れができています。市民の手で運営がうまく回る、ここ

にもエコットの運営力の醍醐味を感じました。また、土地柄でしょうか、豊田市は大きな自動車会社があり、イン

タープリターに自動車会社勤務だった方も少なからずおられます。生活にも余裕がある上、技術や経験値が高い市民が少なくない、というお話でした。

都市に選定(2018年)された豊田市を盛り上げる拠点施設の一つとして、日々運営されています。

### ●5月の春の研究討論会

5月26日(10:00~11:30)、本研

### ●SDGsに向けた多種多様な事業

エコットは豊田市全市民(42万人)のエコライフをめざすため、子ども園で積み木遊びを通じた木育事業や、清掃工場や展示室の見学案内、環境講座や出前事業等を行っています。また、市内のSDGsの取り組みを促進させるために、とよたSDGsポイント事業や、地元の企業と市民団体をマッチングさせる環境活動マッチング事業等、SDGs未来

究部会は、「廃棄物資源循環学会・春の研究討論会」※2において、「運営組織の作り方／人材と育成」をテーマにセッションを開催します。本記事で取材した長内事務局長を筆頭に、経験豊かな凄腕の施設運営者らが集い語り合います。ご興味のある方は、ぜひともご参加ください。(鈴木榮一／環境学習施設を考える会・事務局) **W**

※1 豊田市環境学習施設eco-T(エコット)ホームページ  
<http://www.eco-kyota.com/>

※2 令和4年度「春の研究討論会」(参加費無料)  
[https://ismcwm.or.jp/?page\\_id=1586](https://ismcwm.or.jp/?page_id=1586)

### ●連絡先● 環境学習施設研究部会

「環境学習施設研究部会」で検索すると、(一社)廃棄物資源循環学会環境学習施設研究部会のページがでてきます。同部会がfacebookの「環境学習施設を考える会」も運営しています。